

様式

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和５年度第２回新町小学校学校運営協議会
日時	令和５年１１月７日（火曜日） １５時００分～１６時３０分
場所	新町小学校 会議室
出席委員	武田 和子会長、佐藤 克則委員、高橋 裕一委員、 佐藤 敏夫委員、中里 由架利委員、越後 里菜委員、 田邊 昭子委員、萩原 基雄委員、安保 聡美委員、 安野 修司委員、荒幡 光宏（新町小学校長）
欠席委員	長島 安一委員
事務局	小井川 聡教頭、三浦 英美代事務主幹
議題	(1) ここまでの学校運営について (2) 来年度の学校行事等について (3) 熟議「温かい心と心をつなぐ学校・家庭・地域」について (4) 情報交換（授業参観において気づいた点）
配布資料	資料１ 学校だより「明日への希望」第７号 資料２ 熟議シート 資料３ 新町小学校学校運営協議会資料 資料４ 令和６年度鶴ヶ島市立新町小学校年間行事予定表（参考）
公開・非公開	公開
傍聴人数	０人
会議要旨	(１) ここまでの学校運営について校長が説明を行った。 (２) 現時点での来年度の学校行事等の予定について、教頭が説明を行った。 (３) 「温かい心と心をつなぐ学校・家庭・地域」にしていくための取組について３グループに分かれて熟議し、全体で共有を図った。 (４) 授業参観において気づいた点等の情報交換を行った。

【議事概要】

議題１，ここまでの学校運営について

（校長）５年生が１０月３１日～１１月１日にかけて小川げんきプラザに宿泊学習に行きました。

「誰も一人にしない」をキーワードに山登り、レクリエーションを行うことができました。

５・６年生が新町小学校を引っ張り良き伝統をつないでいくことを期待しています。また、縦割り活動で行う新町ワールドに向けた準備や３年生の感謝の会でも、助け合い協力し合う姿が見られ、温かい心と心をつなぐような成長が見られました。

議題２，来年度の学校行事等について

（教頭）資料４を参考資料として提示し教頭が説明を行った。

議題3、熟議「温かい心と心をつなぐ学校・家庭・地域」について

3つのグループに分かれて熟議し、後程全体で共有を図った。

(A グループ)

- ・子どもへ思いやりを持って接し、声がけを行い、地域で見守っていく。
- ・自分が笑顔で挨拶することで、子どもも自然と挨拶してくれるようになるのではないか。
- ・子どもの悩みをいつでも相談に乗ったり会話の中で引き出せたりするとよい。
- ・わかりやすい授業の工夫で楽しい授業になるとよい。

(B グループ)

- ・登下校の挨拶でハイタッチをするふれあいや、清掃活動と一緒にいる中で感謝の心を育てていくのはどうか。地域の方とふれあいながら互いへの感謝を伝えられるとよい。

(C グループ)

- ・学校の周囲を子どもと保護者・地域と一緒に清掃を行い、子どもが大人から感謝される機会を作ること、奉仕の心や感謝される喜びを感じられるのではないか。
- ・地域の方と子どもの距離を近くするために昔遊びのようなレクリエーションを行うのはどうか。
- ・子どもの得意なことを褒めて自己肯定感を上げていく。

議題4、情報交換（授業参観において気づいた点）

- ・1年生が学校になれたようで楽しく授業を受けていた。
- ・学年が上がるにつれ落ち着いてきていた。6年生が集中していた。
- ・毎朝見守りを行っているが、遠くからでも挨拶してくれるようになった。
- ・挨拶がよく出来ていた。普段から身についているようだ。
- ・教室にモニターがあり、すぐ見て理解できるようになっていた。板書も工夫されていた。
- ・前回より落ち着いてると感じた。
- ・行事を重ね、クラスがまとまっていると感じた。
- ・ただ計算するだけでなく、授業のねらいをかみくだいて教えていた。
- ・保育園児が1年生との交流会に参加した。ドングリを使ったおもちゃを作ったり遊び方を教えてくれたりととても成長を感じた。
- ・6年生が授業をしっかりとした態度で受けていた。身体的にも成長している。中学進学が楽しみだ。
- ・3階のトイレの改修は今後予定されているのか？
→（回答）市教委に伝えてあるので今後改修されることを期待している。
- ・屋上の柵がさびていて危ないのではないかと？
→（回答）常に鍵をかけていて入れないようにしている。
- ・落ち着いている印象を受けた。学校の保護者への丁寧な対応が落ち着きにつながっているのだと感じた。
- ・掲示してある友達の作品を見ながら新しい関係作りができるスペースがあってよかった。
- ・すぐに挙手した子をあてるのではなく、他の子どもたちがわかるタイミングまで指名を待ってくれることで、子ども達にチャンスがあってよかった。

- ・挨拶は人間関係づくりの基本。子ども達との人間関係づくりを言葉の投げかけから行っている。
- ・畑作りから野菜を植える、収穫祭まで、地域として学校に協力させてもらっている。畑にいと子どもから声をかけてくれる。
- ・子ども扱いではなく1人の人間として対応していくことが大切だと感じている。
- ・子ども達がよく掃除していた。
- ・挨拶がよくできていた。地域に行ってもできるとよい。
- ・先生が立ち止まって挨拶してくれた。